

各 位



2020年8月28日

会社名 中越パルプ工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 植松 久
(コード番号 3877 東証第1部)
問合せ先 管理部長 秋永 吉男
(TEL. 0766-26-2404)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は最近の業績の動向を踏まえ、2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の連結・個別業績予想及び配当予想の修正について、お知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

1. 業績予想の修正について

2021年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想の修正（2020年4月1日～2020年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	37,500	△3,000	△3,000	△3,500	△262.15
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	47,922	809	810	531	39.77

2021年3月期通期連結業績予想の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	76,000	△2,700	△2,800	△3,350	△250.92
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	95,140	2,057	1,985	919	68.85

2021年3月期第2四半期累計期間個別業績予想の修正（2020年4月1日～2020年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	34,500	△3,000	△3,000	△3,500	△262.15
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	44,914	656	640	405	30.39

2021年3月期通期個別業績予想の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	70,000	△2,700	△2,800	△3,350	△250.92
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	89,140	1,633	1,596	654	49.00

(業績予想修正の理由)

2020年5月14日公表の「2020年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」では、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により業績への影響を合理的に算定することが困難であることから、2021年3月期の業績予想は未定としておりました。

新型コロナウイルス感染症の終息時期は不透明な状況ではありますが、現段階において入手可能な情報をもとに一定の仮定を織り込み、業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

紙パルプ業界におきましては、世界的な新型コロナウイルス感染拡大による景気減速での需要減に伴う売上減少により、非常に厳しい情勢が続いております。当社の主要製品である印刷情報用紙につきましては、イベントの中止やテレワークの普及等により、国内製紙産業全体の出荷量は対前年同期と比較し約3割の落込みが続いております。当社の生産活動においても需要に見合った非効率な生産を余儀なくされ、損益が大幅に悪化しております。新型コロナウイルス感染症による景気減速からの回復には時間を要すると考えられますが、今後の需要は徐々に回復に向かうと考えております。

このような状況下当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の終息後においても、紙・パルプの需要は新型コロナウイルス発生前の状態までは戻らないことを想定し、既に「事業戦略推進プロジェクト」を立ち上げ、生産体制再構築を含め様々な検討を行っております。現在取り組み中の中期3ヶ年計画『フォワード304』についてもさらに取り組みを加速し、情勢の変化に対応しリスクを吸収できるしなやかな企業グループを目指し、強固な収益基盤の構築に努めてまいります。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2020年5月14日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想		0.00	—	—	—
当期実績	—				
前期実績 (2020年3月期)	—	25.00	—	25.00	50.00

(配当予想修正の理由)

当社は、株主価値と企業価値の持続的向上を目指し、業績の状況や企業体質の強化ならびに今後の事業展開等を勘案しながら十分な株主資本の水準を維持するとともに、株主各位に対する利益還元のための安定配当の実施を基本方針としております。

当期の配当金については未定としておりましたが、

- ・新型コロナウイルス感染症の影響等により配当原資である親会社株主に帰属する当期純利益が大幅な損失見込みであるため
- ・コロナ禍が引き続き継続することが予想されることから手元資金を確保するため
- ・今後も需要が減退することが予想される印刷情報用紙主体である紙・パルプ製造事業の事業構造改革や新規事業への投資のために事業資金を投下するため

等の理由から、当期の中間配当金については誠に遺憾ながら見送る方針を決議いたしました。また、期末配当金につきましては、未定のままとさせていただきます。

中間配当金について無配とさせていただきますこと、株主の皆様には深くお詫び申し上げます。今後は、コロナ禍や紙需要減退のなかでも収益を計上できる企業体質を築き上げ、早期に復配ができるよう努めるとともに、中長期的な企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上